

議会だより

第117号

2022 令和4年10月25日

9月定例会

もくじ

令和3年度決算認定	2
令和3年度主な事業	4
9月定例会	6
決算審査特別委員会	7
補正予算質疑	7
一般質問(6人が町政をたず)	8
総務文教常任委員会視察	15
議会のうごき	15
全員協議会	16
出雲崎中学校3年生議会見学	18
出まえ議会のお知らせ	19
議会サロソ	19
議会モニターの委嘱	20

まるごとオーナー稲刈り体験

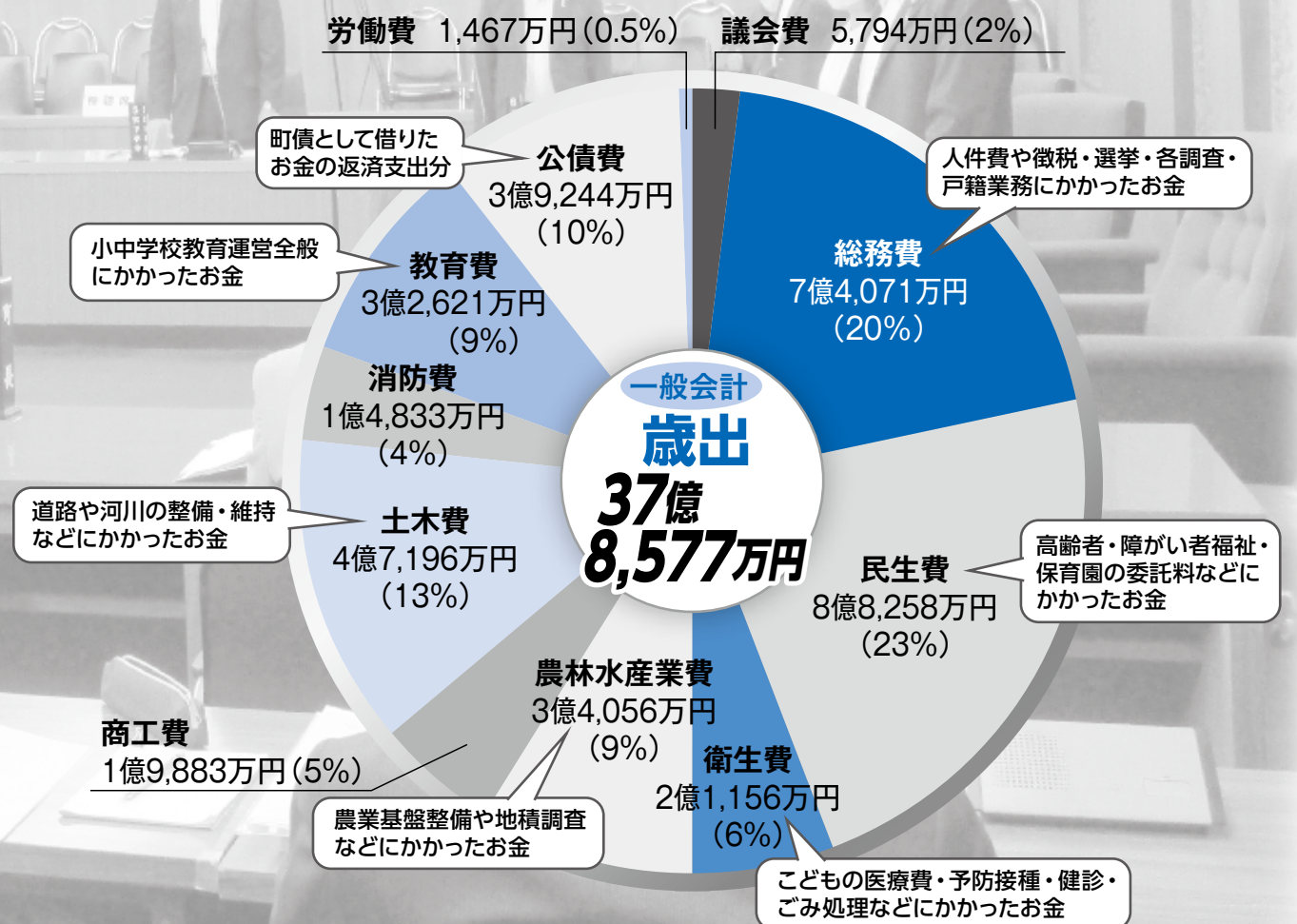
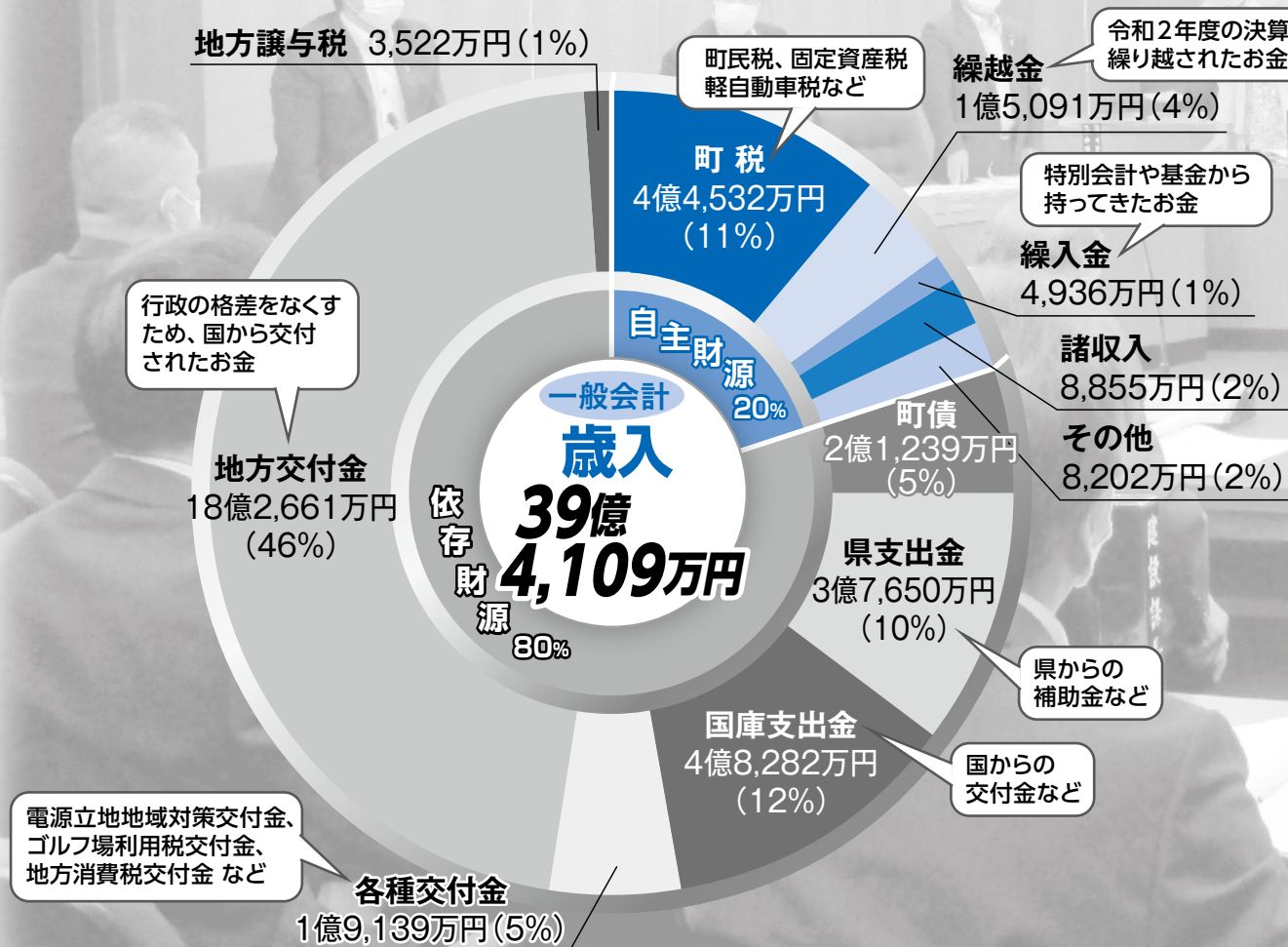
出雲崎町議会
ホームページ



令和3年度決算認定

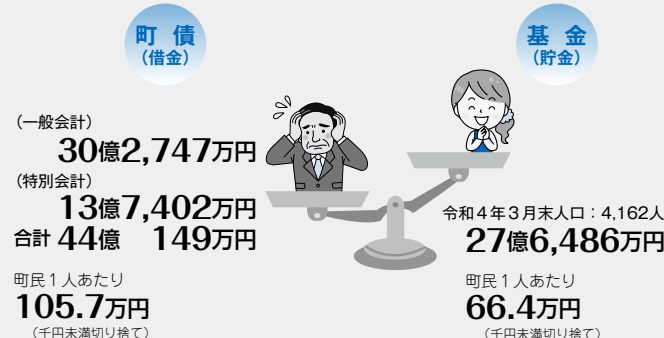
一般会計と8特別会計の決算は

歳入	一般会計	39億4,109万円	特別会計	19億3,537万円	総額	58億7,646万円（前年比 2億6,292万円減）
歳出	一般会計	37億8,577万円	特別会計	18億3,498万円	総額	56億2,075万円（前年比 2億6,542万円減）

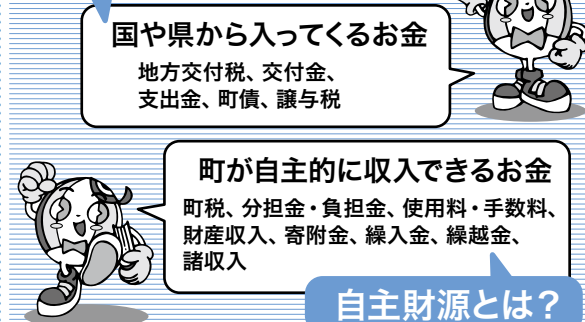


金額は1万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額と一致しません

町債（借金）と基金（貯金）の状況



依存財源とは？



各会計の決算状況

会計名	決算		差引残高
	歳入	歳出	
一般会計	39億4,109万円	37億8,577万円	1億5,532万円
特別会計	19億3,537万円	18億3,498万円	1億
国民健康保険	5億7,742万円	5億3,254万円	4,488万円
介護保険	6億9,496万円	6億6,078万円	3,418万円
後期高齢者	6,576万円	6,520万円	56万円
簡易水道	1億7,459万円	1億7,040万円	419万円
特定地域生活排水	1,249万円	1,104万円	145万円
農業集落排水	1億4,397万円	1億3,450万円	947万円
下水道	2億4,915万円	2億4,431万円	484万円
宅地造成	1,698万円	1,618万円	80万円
合計	58億7,646万円	56億2,075万円	2億5,571万円

令和3年度 一般会計 主な事業を

ピックアップ!!

真に必要な町民サービスを実施！

～主な事業を紹介～

★印は新型コロナウイルス対策事業

総務課関係

○町デマンド交通運行費補助金	1,182万円	……地域住民の移動手段を確保するための運行費補助
○ふるさと出雲崎応援基金積立	2,517万円	……ふるさと応援の寄付金を財源とした積立（寄附 1,078件）
○ふるさと納税寄附謝礼	595万円	……ふるさと納税の寄付者の返礼品
★住民税非課税世帯等臨時特別給付金	4,270万円	……住民税非課税世帯を対象に1世帯当たり10万円を支給した経済的支援
○街なみ環境開発基金繰出	314万円	……尼瀬地内の土地を一般会計で買取り、民間事業者による利活用を促進

町民課関係

○資源ごみ分別回収・処理委託料	2,248万円	……生活環境の保全と公衆衛生の向上と適正処理
○一般ごみ収集運搬・処理委託料	3,258万円	……同 上
○ふるさと就職支援商品券発行事業交付金	724万円	……新規学卒者、Uターン者に対し、商品券を1月1万円交付（受給者 61人）

保健福祉課関係

○高齢者福祉タクシー・バス利用料助成事業	445万円	……交通機関の利用が困難な方や、交通手段を持たない高齢者にタクシー、バス券を支給（利用者419人）
○後期高齢者医療広域連合負担金	5,898万円	……共通経費・医療給付費負担金
○子どもの医療費助成事業	967万円	……子どもの医療費の助成（0歳から高校卒業まで）
★新型コロナウイルスワクチン接種対策費	2,499万円	……予防接種法に基づく新型コロナウイルスワクチン接種の実施
○定期予防接種委託料	795万円	……予防接種法に基づく定期接種の実施
○健康増進事業	1,005万円	……18歳以上を対象に実施（健康相談、健康診査）

産業観光課関係

○町農業機械施設設備事業補助金	302万円	……農業所得の向上と農地の維持・発展につなげるための機械導入補助（滝谷生産組合）
★町農業者経営支援事業補助金	679万円	……感染症の影響により米価格が下落し、販売収入が減少している農業者の収入減少分の一部補助
★町事業継続支援給付金	459万円	……前年同月と比較した売上が減少している事業者への給付金（22件）
★プレミアム付商品券利用事業交付金	4,274万円	……町民への生活支援と町内事業者の活性化対策として商品券10,000円分を5,000円で販売
★新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	2,784万円	……時短要請に伴い時短営業を実施した飲食店に協力を支給

建設課関係

○除雪委託料	1,839万円	……冬季道路・歩道の除雪（一斉出動7回、部分出動6回）
○町道維持修繕工事	972万円	……町道中田線ほか道路修繕工事
○トンネル維持修繕工事	786万円	……稲川トンネル維持修繕工事
○道路新設改良舗装工事	9,520万円	……町道の新設・改良・舗装工事
○米田町営住宅改修工事	769万円	……米田町営住宅外壁改修工事
○町新生活スーパー住まい取得リフォーム支援補助金	1,489万円	……町新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援（20件）

教育課関係

○通学バス運行業務委託料	2,145万円	……大型バス2台を配車、小学校児童と12～3月は中学生徒も含め運行
○出雲崎高校応援看板設置工事	81万円	……出雲崎駅に出雲崎高校応援看板を設置
○高校生通学費助成金	170万円	……高校生保護者の経済的負担軽減を図るため、通学定期券購入の3割補助
○寄港地の町家トイレ整備工事	118万円	……町家展示施設「出雲崎寄港地の町家」のトイレ整備

子ども未来室関係

○保育実施委託料	6,525万円	……小木之城保育園、広域入所保育実施委託料
○認定こども園施設型給付費等	6,589万円	……出雲崎町こども園、広域入所認定こども園給付費
○児童手当	4,444万円	……児童手当支給（R3.2～R4.1まで 延3,976人）
○室内壁面遊具・室内遊具	571万円	……多世代交流館きらりの室内遊具の購入
★子育て世帯への臨時特別給付金	4,600万円	……子育て世帯への臨時特別給付金



多世代交流館きらり室内遊具



滝谷生産組合（トラクター）

9月定例会

議案18件を可決・承認

会期 9月9日から16日（8日間）

可決した補正予算

会 計		補正額	補正後の予算額
令和4年度一般会計（第3号）（専決）		281万5千円	35億1,117万7千円
令和4年度一般会計（第4号）		8,691万8千円	35億9,809万5千円
令和4年度一般会計（第5号）		1,286万3千円	36億1,095万8千円
特別会計	国民健康保険事業（第1号）	16万5千円	5億 856万5千円
	介護保険事業（第1号）	3,441万7千円	6億9,141万7千円
	簡易水道事業（第2号）	300万円	2億3,502万8千円
	農業集落排水事業（第1号）	200万円	1億 170万円
	下水道事業（第2号）	▲1,100万円	3億1,019万7千円

一般会計補正予算（第3号・専決）

主な歳入	主な歳出
・前年度繰越金追加 281万円	・庁舎多目的棟シャッター交換工事 100万円
	・消火栓用自家発電設備修繕工事 58万円
	・川西町営住宅外壁塗装修繕工事追加 50万円

一般会計補正予算（第4号）

主な歳入	主な歳出
・新型コロナウイルスワクチン 接種体制確保事業補助金追加 89万円	・新型コロナウイルスワクチン 予防接種委託料追加 83万円
・新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金追加 3,082万円	・燃料購入費等助成事業交付金 3,680万円
・前年度繰越金追加 8,349万円	・除雪機械格納庫舗装工事 500万円
	・道路新設改良舗装工事追加 2,100万円

一般会計補正予算（第5号）

主な歳入	主な歳出
・新型コロナウイルスワクチン 接種対策費負担金追加 821万円	・新型コロナウイルスワクチン接種 医師等報償追加 617万円
・新型コロナウイルス 接種体制確保事業費補助金追加 282万円	・新型コロナウイルスワクチン予防接種 委託料追加 206万円

請願

緊急事態に関する国会審議を求める請願

審査
結果

全会一致で採択に
決定

陳情

コロナ禍においても私立高校生が学費の心配なく学び続けられるよう、私学助成の増額・拡充を求める意見書の採択を求める陳情

審査
結果

全会一致で採択に
決定

可決された意見書

緊急事態に関する国会審議を求める意見書

コロナ禍においても私立高校生が学費の心配なく学び続けられるよう、私学助成の増額・拡充を求める意見書

決算審査特別委員会

令和3年度一般会計・特別会計決算は決算審査特別委員会に付託して審議し、次の意見を付して全会一致で認定されました。

■総務文教分科会

- *デマンド交通については、利用者のさらなる利便性の向上を図る必要があり、町民のニーズを再確認し、検討するよう求める。
- *町公式 LINE について、多様な情報を発信するよう求める。
- *地域おこし協力隊員のニーズを把握して、町の活性化に繋げていくよう求める。
- *歴史や五郎兵衛の出棚奥座敷について、建物改修されるよう望む。

■社会産業分科会

- *地元歯科医院の自主廃業が予定されているなか、町歯科診療体制の充実を図るよう求める。
- *長岡うまい米コンテストで金賞を取った中で、ふるさと納税の増加と販売促進の PR に勤めるよう求める。
- *町子育て支援補助は県内トップクラスで効果が出ており、「子育てするなら出雲崎」をさらに進め、大門町営住宅の早期建設で人口減少を抑制するよう求める。
- *健康診断の受診率は、50.8%であり、昨年より上がったが、町目標の 60%へさらに近づけるよう求める。

令和4年度9月

補正予算
質疑

川西特定公共賃貸
住宅外壁塗装工事
追加

50万円

小黒議員 予算を追加するにあたり、業者から見積もりを取り直したか。

建設課長 取り直したが、資材高騰分に加え、交通誘導員の費用が追加になっている。

町障がい者緊急
シヨートステイ
事業委託料

8万円

高桑議員 新たに予算計上しているが、今までもやすらぎの里では、緊急シヨートステイを行っていたのではないかと

保健課長 国が進める、地域生活支援拠点整備事業の一つとして行う事業であり、過去に災害時などの緊急の受け入れは行っていた。今回は、障がい者を介護する方が急病になった場合などによる受け入れになり、体験が主になる予算である。

町有害鳥獣捕獲の
担い手緊急確保
補助事業補助金

5万円

加藤議員 イノシシの被害が後を絶たない。予算を増額して担い手を確保できないか。

町民課長 一人分の免許取得の予算計上であり、今後、免許を取得する方が増えれば補正予算で対応していきたい。

多面的機能支払
交付金追加

31万円

中野議員 どの集落が、どのようなことを行うのか。また、制度の期間が5年と聞いているが、今後はどうなるのか。

産業観光課長 小釜谷集落が草刈り等の共同作業を行い、相田集落は水路の整備を行う。農業を守るために必要な事業であり、今後も続くと考えている。

町就学援助支援金
追加

21万円

仙海議員 このタイミングで補正予算だが、保護者の中に家計急変世帯などが出たのか。

教育課長 当初では16人分を見込んでいたが、19人分の申請があったためである。

物価高騰対策給食費
補助金

20万円

高桑議員 中学生だけ補助をする理由は。

高橋議員 一食あたり20円の補助になっているが、根拠は何か。増額はできないのか。

教育課長 物価高騰が続く中で、4月から6月までの実績を基に試算したところ、今後、中学校では、新たに給食費を徴収しなければならぬため、補助を行うものである。昨年の4月から6月と、今年の4月から6月を比較して試算を行った。その結果16円から19円の金額の上昇があったので20円とした。

保育対策総合支援
事業費補助金

100万円

高橋議員 町内2園の保育士等の働き方や、超勤の実態などは把握しているのか。

子ども未来室長 新型コロナウイルス感染症対策で、超勤等の人件費が上がっているが、今回の補正予算は、備品購入に充てられるものである。毎月の定例会議で意見交換をしている。

1 みやした たかゆき
宮下孝幸 議員



質問項目

1. 老朽化危険家屋対策について

🔍 詳細は9ページ

2 なか の かつ まさ
中野勝正 議員



質問項目

1. 補助金の見直しについて

🔍 詳細は10ページ

3 いしかわ 中たか
石川 豊 議員



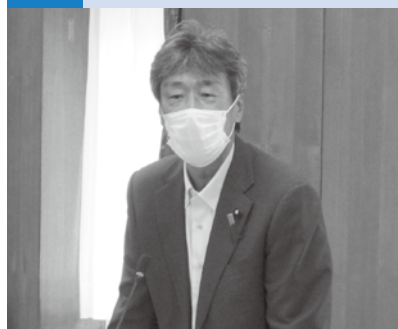
質問項目

1. 町地域防災計画の改定について
2. DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入の備えについて
3. 町指定管理施設における接客対応のレベルアップについて

🔍 詳細は11ページ



4 おくろ ひろ やす
小黒博泰 議員

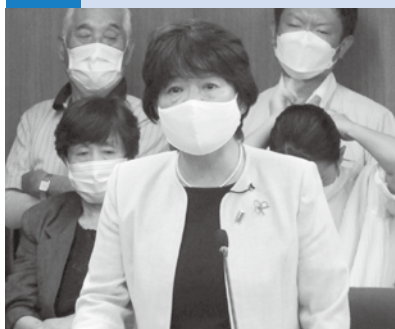


質問項目

1. 自転車保険の加入義務化について

🔍 詳細は12ページ

5 たか くわ よし こ
高桑佳子 議員



質問項目

1. 有効な支援が必要な人に届く制度に

🔍 詳細は13ページ

6 し ま あ す か
島 明日香 議員



質問項目

1. 心身の健康維持・増進に向けた町の取り組みについて

🔍 詳細は14ページ

※一般質問の原稿は、それぞれの質問者が作成しています。

出雲崎町議会
YouTube チャンネル

9月定例会の録画中継はこちらからご覧いただけます➡





宮下 孝幸 議員

老朽化危険家屋対策について

町長

町民の命に係わる物は 行政で対処する・・・！

危険家屋対策の取組は…

の調査もした。実態調査は都度更新され、持ち主に適正管理を促している。

宮下

私は過去在任中、東京都足立区の例を取り上げ、放置された危険家屋の問題の質疑をしている。

民家が密集する当町海岸

地区では、この問題は深刻で到底容認し放置できない。当時の質疑に対する答弁

は、まずは家屋リストを策定しその後の対策としたいとの事であった。海岸地区

には、現在でも網掛け状態で放置された家屋も存在しているが、日々平穏な生

活を望む近隣住民にとって、危険と隣り合わせの生活は決して安住の地ではない。では、リスト策定はどの

程度出来ていて、その中で危険家屋はどれくらいあり、毎年調査をし、データ

は都度更新されているか。

町長

平成30年度に町内全域2088戸を調査し、令和3年には海岸地区300戸

宮下

結果を基に改善策は検討してきたか。

町長

危険家屋に対しては、現地を確認し、現況を把握して調査しながら、持ち主が判明した物には、文書で適正管理を依頼してきた。

宮下

少子高齢化の波により、老朽家屋の増大は全国的に社会問題化する事は想像するに難くない。

国も2015年5月に「空き家対策の推進に関する特別措置法」を施行し、

「特定家屋」と位置付けた。

法の施行に伴い、市町村は条例制定を行う事で、立ち入り調査・助言・指導、そして命令ができることとされている。

町長

当町も2019年3月に条例を制定した。家屋は憲法の定める「財産権の保障」として守られているが、そ

これは公共の福祉に反しない事を基本とし、所有権者が適正管理の義務を負う。しかし、財産権の放棄などにより、相続人が特定できない建屋が存在したり「行政代執行」により解体しても資金回収が困難な場合も予測され、更に、一例により行政任せが慣例化する懸念もある。しかし、近隣住民の危険回避の問題だけでなく、当町が売りとする「妻入りの街並み」景観保存にも大きな障害となっている。「行政代執行」も視野にすべきと感じるが、町長は今後、どのような政治決断を持って解決していくのか。

町長 持ち主が確認出来ない物には、網掛けなどの回避措置をしている。更に空き家が危険家屋とならないよう勤めながら、町民の生命財産に危険を及ぼす物に付いては行政が責任を持って対処する。

宮下

行政リスクが絡む複雑な問題でもあるが、最後はやはり、急を要する「特定家屋」に限定し、我々議会を含む、町長の究極的な政治決断が必要である事を申し添えておく。



老朽化危険家屋の対策は急務…



中野 勝正 議員

今後の補助金見直しについて

町長

メリハリのきくような見直し

農業関係の補助金について

【中野】 令和3年度3つ補助金が出ている。

農業振興費、町水田活用推進事業補助金、町農業機械施設整備事業補助金、町農業者経営支援事業補助金があり、個人の農家や集落の皆さん、生産組合の皆さん、大変喜ばれている。

産業観光課長から、農業関係の補助金、見直しをするということを聞きました。どのような見直しをするか伺う。

【町長】 町の農業環境は大変厳しい事態を迎えておるといふように捉えている。農業従事者の高齢化、後継者難、担い手、基盤整備が進んでおらない農地など、大変農家の皆さんもお困りだろうと捉えている。基本的に今後の営農を継続していく将来的な長期的展望に立ったところの組織を立ち上げた、そういうものに対しては大胆に援助したいと考える。



農業問題についての会議

【中野】

厳しい状況の中、国、県、市町村を挙げた中でやっているが前に進んでいないと思う。現状の補助金制度が活用なのであれば頑張る気が起きると思うが町長の考えを伺う。

【町長】

出雲崎町の農業の存続を図りたいとおもうので個人に対する機械の更新については補助制度はない。ご理解いただきたい。

【中野】

見直すということは、補助金が増えるとは思わない。

【町長】

出雲崎町の農業を守るという観点から見直しをしなければならぬが限りなく農家の皆さんの心情と現状に寄り添って町もできる限り努力する。ただ補助金をカットする、そんなさもない考えはない。

町農業の 取り組みについて

町長

段階的に進める



大門生産組合員メンバー他

町で農業生産法人

【中野】 町で農業生産法人は難しいが2年間の計画を出したいとの答弁3月の一般質問で聞きました。今年は4つの項目計画スケジュールが示されたが今現在どのように進んでいるか伺う。

【町長】

農業者からの意見聴取が必要、おおむね5ヘクタール以上の農業者の皆さんから経営の現状と規模拡大の意向、あるいは後継者の有無、後継者があるかないか、現状は何に困っているか、法人設立に対して何が障害となっているか、それをクリアすることによって問題の解決につながるだろうという事で、今現在一人一人聞き取りを行っています。

【中野】

難しいのは分かっている。今現実には我が出雲崎においてのんびりなんかしてられない。

町長は、聞く力と町民に寄り添う力、ぶれない政策をやっている、ぶれないで早くやっていたきたい。

改定予定の町地域防災計画の進捗状況は？



石川 豊 議員

町長

年内に改定骨子を作成し、来年2月目途に防災会議を開催する

町地域防災計画の改定はいつ頃になるか

石川 今年度の施政方針の中で、町の地域防災計画を改定するとあるが、その進捗状況を伺う。

町長 国や県の改定された計画に基づき、パブリックコメントを頂きながら、年内に改定の骨子を作成し、来年2月頃目途に防災会議の開催を予定している。

石川 改定された計画について、町民等に対してどのように周知していくのか。

町長 令和5年度に改訂版防災ガイドブックを配付する。

DX導入に備え、職員の研修等の考えは如何に

石川 人口減少を背景として、来庁による事務手続

きや紙ベースでの連絡等、従来のやり方が立ち行かなくなりつつある中で、DX導入を考えた時、その事務作業を担う職員の研修等について伺う。

町長 DX導入に関して、職員が共通意識を持つことが欠かせないことから、管理職を含め全職員対象として、DXの基礎的な研修を行う予定になっており、今年度は7名の職員が受講している。

国は、このフォーメーションのシステム開始に道筋をつけると言っているわけで、当町も国が進めるデジタル化の動向を注視しながら、今後も研修等に取り組んでいく。

一口メモ

DX（デジタルトランスフォーメーション）
デジタル技術を活用して、従来の行政事務のやり方を変えること。住民が便利で楽に生活ができることを目指す。

町指定管理施設における接客対応は大丈夫か

石川 施設リニューアル後、紙風船を買いに来た顧客に対する「ぞんざいな対応」や町が力を入れているブランド米コシヒカリ出雲崎の輝を買いに来た顧客への「不愛想な対応」など、町で一番の集客場所であることから、接客対応のレベルアップが急務と考えるが、町長の所見を伺う。

町長 紙風船の件は、指定管理者に対して地元特産品を前面に出し、配置してほしい旨伝え、紙風船の販売ができるよう努めるとの回答をもらっている。このような質問をいただき本当に残念である。接客対応等については十分意を尽くしてもらわなければならないと考えている。その為、そのような事例が二度と起こらないよう、指定管理者側に社員教育について徹底するよう強く申入れをしているところである。



町指定管理施設の一つ、「天領の里」

自転車保険の加入義務化の周知と加入促進



小黒 博泰 議員

町長

あらゆる手段を講じる

自転車保険加入義務の周知方法は

小黒 新潟県は、今年4月に自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例を制定し、10月1日から自転車保険の加入が義務化された。近年、都会など自転車の事故で高額な賠償金を求められるケースが発生している。当町に於いても、そのような自転車事故が起こらないとは限らない。

中学生は自転車通学し、小学生も練習して自転車を利用し、町民の中にも自転車を利用している方が多くいる。広報いずもぎ8月号で掲載していたが、他どのような周知をしたのか。

あらゆる機会です啓発していく

町長 広報いずもぎ8月号でお知らせをし、町の公式ラインでも啓発しており、町ホームページには9月中に掲載予定になっている。中学生の新1年生保護者へはPTA入会時に会長が

説明し、6月に全生徒の保護者にチラシを配布、8月に再度全保護者へ周知している。

町民の皆様には10月の区長会議に伝え、チラシも配布したいと考えている。

県も義務化について啓発をしているが、町からも一、二回のお知らせでは自転車保険の加入義務が浸透するとは思わないので、あらゆる機会に啓発をしていきたい。

周知広報が遅いのでは

小黒 県からは4月に自転車保険義務化の広報があり、7月には県民生活課交通安全対策室から交対室だより号外1号が出されているのに町民への広報が遅いと考えている。

あらゆる手段を講じて理解に努めていく

町長 周知、広報が遅いという意見は率直に受け止めるが、短い間でも周知徹底し、理解していただく手段・方法を模索しながら実

行していく。自転車保険加入の義務化についてはあらゆる手段を講じながら、全町民の皆さんから、できる限りご理解頂く様に努めていく。



利用者全員が加入する必要があると考えるが

小黒 義務化で罰則等は無いが、利用者全員が保険に加入する必要があると考えるが、町の考えは

努力義務とはいえず必ず加入していただきたい

町長 県の条例では各主体の責務・役割を定めているが、まずはそれぞれの方が責務・役割を果たすことが第一と考える。

町としても、自転車の利用に関わる交通事故防止及び被害者の方の観点から考えて、利用される方や家族

の方々からは努力義務とはいえず必ず加入していただきたいと考える。

補助金などは考えられないか

小黒 保険加入は個人の義務になるわけだが、保険加入を促進するにあたり、補助金・助成金、町内商品券の配布、自転車点検サービスなどは考えられないか。

加入状況等を見ながら検討する

町長 全国の先進地での補助制度の利用率を見ると、想定2%程度である。補償内容にもよるが、高額な保険料ではないのでそれぞれで対応していただきたいと考えるが、今後の加入状況等を見ながら検討したい。



有効な支援が必要な人に届く制度に



高桑 佳子 議員

町長

来年度は子育て応援宣言の町を提唱する

高桑 当町の子育て支援制度は、経済的支援だけでなく、困りごとに寄り添うきめ細やかな対応など、自慢できるものと思う。

この子育て支援制度を住宅取得支援や若者支援などの他の制度と併せて、町内外へ効果的にPR出来ないか、また、何らかの事情で支援制度を利用できない方たちへ届けられないかと考え、この2つの観点から町長の考えを伺う。

他の制度と併せて積極的な発信を

高桑

子育て支援制度の町内外へのPRを、これからどのように進めていくか。子育て世代の多くがSNSを活用しており、PRにもその活用が有効と考える。また、なぞときイベント「財宝を探せ」には、町外から多くの子育て世代が出雲崎町を訪れていた。当町の子育て制度等の紹介に誘導できなかったことは大変

残念に思うが、どう考えるか。

あらゆる機会を講じて子育て支援策を進める

町長 出雲崎町の社会動

態は3年連続転入増となった。令和4年度も8月末までに12歳までの転入が9世帯、38人の増となり予想を上回っている。さらにPRを進め、来年度は子育て応援宣言の町を提唱する。子育て世代が安心感満足感を実感できる町として、SNSをはじめあらゆる媒体を最大限に活用し、切れ目のない支援制度を積極的に外に向けて発信していく。

高校生の通学費助成再考を

高桑

通学定期代や下宿費用の30%が補助されており、ありがたい制度と思う。それでも長岡方面へのバス定期代は、柏崎や吉田方面へのJRに比べて、約倍となっており、保護者にとつ

ては大きな負担となっており、これを軽減できないか。また、何らかの事情で公共交通機関が利用できず、保護者が送迎しているケースもある。この場合、定期を購入しないため補助を受けられていない。日数把握の証明を受けられる方法等を検討し、助成の対象を広げる、あるいは新しい制度を検討できないか。

公平性の観点から

難しいが制度の改善は可能であれば対応したい

町長

長岡方面のみを検討するのは、公平性の観点から難しいが、基本となる制度の改善が真に必要であり、可能であるならば対応したい。また、定期を購入されないかたについては、入学に当たってご家族で通学条件等々も検討されていることと考える。公共交通機関を利用しない場合でも、様々な手段を考えて対応しているの、現状助成の対象を広げることは考えられない。

高桑 子育てで、実際に金がかかるのは高校生からで、親が本当に苦しいのもそこからだと思う。支援が必要な方に届くよう、検討いただきたい。

奨学金返済支援事業の卒業要件をはずして

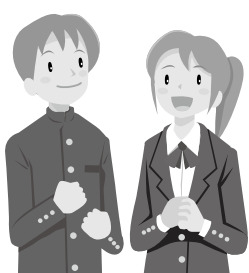
高桑

何らかの事情で卒業できずに、地元で就職される方もいる。奨学金を借りていれば、社会に出ると同時に奨学金の返済を始めなければならぬ。卒業要件を見直して、適用出来るようにすべきと考えるがどうか。

そのように進める

町長

そのとおりなので、卒業要件をはずした形でやってみよう。



**町民の健康のために
各課で連携を！**



島 明日香 議員

町長

各課連携で切れ目のない 事業展開を進める

参加者を募るための

島 各年代向けに様々な健康教室が開催されているが、たくさんありすぎてわかりづらいという声があります。当町では、平日ほぼ毎日どこかで何かの教室や事業が開催されて、子どもがいればそれに関連する内容のもの、健康意識の高い方以外には、情報が入りにくいのではないかと。

一目瞭然の一覧をつくる

町長 系列別に各課がいろいろな教室をどんな目的で開催するのか、一目瞭然でわかる一つのものを作るべきだと考える。人生100年時代を健康に生きるために、積極的にアピールして参加したい。



町民へのフィードバックは



高齢者パワーアップ事業にて エアロバイク

島 昨年度、地域おこし協力隊員等が転倒予防教室にて運動機能測定をおこない、「町民の運動機能の特徴」を導き出し、おすすめの運動も紹介された。

しかし、参加人数が多い地区の転倒予防教室を7月に見学させていただいたところ、おすすめ運動は取り入れられておらず、協力してくださった教室の皆さまにさえ活かされていない状況だった。

町の健康づくりに生かす

令和6年度からの
町長 第3次健康増進計画の策定
を進め、町健康づくり推進
協議会のワーキング部会の

各課の間に話合いの場を

一員として坂口隊員には携わっていただいている。今回の測定結果を参考にした意見を計画策定に反映し、町の健康づくりに活かしていきたいと考えている。

島 福祉を目的として
いるところ、教育の観点か
ら目指すところが異なるが
故、対象者等に若干の違い
は生じるが、町民の健康の
ためという大きな目的は同
じはず。

社協の実施事業のなかにも、子育て世代や働き世代にこそ参加していただきたい教室もあったり、高齢者パワーアップ事業とスポーツマイレージ事業との関連もあったり、主催する課は違っても、町民の幅広い世代に向けた事業がある。

良い事業をおこなっても町民に「どう良い影響と
なったのか」「どう変化し
たのか」が広く伝わってい

必要に応じて情報共有する

ないように思う。教室への参加者を増やすことも、町民への効果も、各課の連携プレーで確実なものになるのでは。

町長 町民の皆さんの健康状態、ライフスタイル、ニーズも多様化しているため、関係課において連携を図りながら、それぞれの年代において切れ目のない事業展開を進める。

また、リピーターの方の
良い体験談など、今後広報
等でしっかりとPRしてい
くことも必要と考える。



明るい講師の先生による【踏み台運動教室】に参加される
町民の方々。
とても楽しく有酸素運動ができます。ふれあいの里にて。



総務文教常任委員会視察報告

総務文教常任委員会では、閉会中の継続調査として、「津波避難道」について、7月15日に現地調査を行いました。



① 避難路には、コンクリートがうたれて手すりも設置されており、概ねよく整備されている。地形的に傾斜はきつい、最低限「命」を護る一時的避難ということで、現状で良いのではないかと意見がありました。

当町海岸地域に28箇所ある指定緊急避難場所のうち数カ所を、実際に辿って現地視察を行いました。視察後に意見交換を行ないましたが、次のような意見と行政からの回答がありました。



② 出雲崎こども園、山手の避難道について、一緒に上られた園関係者の方から、「子どもたちと地域の方が避難するには居場所がない。避難路脇の土地にいざという時立ち入らせてもらえないか」との話があり、担当からは、交渉して調整するとの回答がありました。

③ 避難時の要支援者について、地域の区長に要支援者リストを渡しているが、これからは1人では避難できない方々の個別の支援プランを立てることも考えなければなら



ないとの意見に対し、現状はまだ難しく課題があるが、実際に避難となると、支援者と地域の方から行動していただく事になるので、共助の考え方で作り上げていかなければならないとの回答がありました。

④ 実際に津波警報が発令された時、町民一人ひとりが、いかに早く避難行動を取るかが大切になってくる。それぞれ個人の都合の良い時に実際に上がってみてもらう、どう避難するかを家族で確認してもらう等の意識



付けが、広く浸透するように広報していくべきだとの意見がありました。

全国的、また世界規模でみても、大きな災害が頻発している昨今です。総務文教常任委員会として、町民の皆様の安全安心のため、今後とも町の防災問題に関し、環境整備・改善のため努めてまいります。

(高桑佳子)

議会のうぶき

(主なもの)

(令和4年8月～10月)

8・10 議会運営委員会

17 第8回全員協議会

↓詳細はp16～17

24 議長会議

27 議会サロン(陽だまり)

9・9 9月定例会招集日

↓詳細はp6

議会報特別委員会

12 社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

13 9月定例会2日目

(一般質問)

↓詳細はp8

14 決算審査特別委員会

↓詳細はp7

16 議会運営委員会

9月定例会最終日

第9回全員協議会

↓詳細はp16～17

29 議会報特別委員会

30 第43回町議会議員研修会

10・5 議会報特別委員会

7 タブレット会議

12 議会運営委員会

13 議会報特別委員会

14 町議会議員研修会(後期)

21 全員協議会

全員協議会

7月～9月開催分

全員協議会は議案の審査又は議会の運営に関し、協議または調整を行うための場です。行政内容あるいは、提出議案について理解を深める場にもなっています。主なものから抜粋して掲載しています。

新型コロナウイルスワクチン接種

保健福祉課長

オミクロン株に

対応した2種類の改良型ワクチンが特例承認され、当町では、10月15日から改良型ワクチン接種が開始となる。

4回目の接種については、60歳以上、基礎疾患を有する方、医療従事者等を優先し、10月中旬から、2回目接種を終えた12歳以上にも範囲を拡大する。海外の科学的治験を踏まえ、接種間隔は短縮される方向だが、10月下旬までには結論が出される。

障がい福祉サービス
利用者負担上限額の
認定誤り

保健福祉課長

平成26年7月当

初から、所得を判断する世帯の範囲に誤りがあり、療養介護医

療費については、本来利用者から負担いただく金額を、町の療

養介護医療給付費で支払っていた。また、食事療養費については、1日480円のところ、1食460円を徴収していた。双方差引いた約76万円を返還することで、

利用者ご家族から了解をいただき、事実経過と謝罪をおこなった。

現在、平成26年7月からの医療費等の支払い状況を確認しており、利用者負担上限額の算定がマニュアルに従っているか、システム入力が正しく行われているかを二人体制で確認し、再発を防ぐ。

高桑議員

誤りがあったのは一件の報告だが、その他の誤りの有無について確認は済んでいるのか。

保健福祉課長

療養介護医療

ふれあいの里消火栓用
自家発電設備修繕工事

保健福祉課長

定期点検が7月

4日に実施され、不具合があり動作しないことがわかったため、業者に原因の調査及び修繕工事の見積書の提出を依頼している。補正予算の先決をし、早急に工事を発注する。

加藤議員

ふれあいの里の担当者が月一度の確認をしたり、チェックシートなどはあるのか。半年前は動いた、ではなく、自覚をもってやってもらいたい。

保健福祉課長

消防用設備の定

期点検については、消防法で年2回と決まっており、今年度最

初の点検で判明した。

燃料費購入費等助成事業

総務課長

燃料（灯油・ガソリン・軽油及びプロパンガス）の購入費を、生活保護世帯及び高齢者がいる世帯、障がい者がいる世帯、ひとり親世帯いずれかに該当する町民税非課税世帯に対し、1世帯あたり3万円、それ以外の世帯については2万円を助成する。10000円券の10枚綴りを2セットないし3セットで送る。使用期限は、11月1日から令和5年の2月28日まで。財源については、新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を予定している。

仙海議員

ガソリンに使用する場合、家庭によって所有する自動車等の台数が違うが、そ

の辺の割合を考慮した助成を検討したか。

副町長

時期的に冬場に入るため、暖房を使う家庭が圧倒的に多いことから、灯油に対する助成拡充の制度と理解してほしい。

トキと共生する里地づくり
取り組み地域

町民課長

トキの分散飼育地

として、1万5千ヘクタール以上必要という要件を満たすために、長岡市海岸地域の旧三島郡エリアだけではクリアできないことから、県及び長岡市から町にも協力の依頼があった。

その際、現行の営農方法で取り組みが可能であること、J Aや森林組合等関係機関の方にも説明に伺い、了解を取り付けたいと県から説明を受け、当町は実施可能な範囲のなかで取り組んでいけると判断した。

そして、新潟県と本町を含む5市町村は、「放鳥を行うトキの野生復帰を目指す里地」に、6月28日に連盟で応募申請書を提出し、8月5日に選定結果が公表された。

その結果を受け、長岡地域等における意見交換会では概ね全て反対意見であったことから、今後最終結論を出すという見込みである。

小黒議員 最終的には農業者を苦しめる放鳥だと思うので、個人的には反対である。県や長岡市とのやり取りもあるが、町としてはどういう考えをもっていいのか。今後、町の農業者等を集めて意見交換会をする予定はあるか。

町民課長 今回の取り組みには、参加できないのではないかとという方向性をもって、今後の推移を見守っていききたい。申請取り下げという形になれば、改めて説明する機会は現在のところ設けなくても良いと考えている。

石川議員 このような話がなぜ今日まで成されなかったのか。

町民課長 環境省の選定をいただいたうえでお話する予定だったが、このような事態になり反省している。

産業観光課長 同様の事業が今後もあった場合は、十分違いが分かるような形で詰めていく。



プレミアム商品券 (宿泊者用交付商品券)の追加

産業観光課長

9月末の交付予

定枚数が8月8日時点で500冊を超えた。今後も予約者の見込みがあるため100冊増刷する。増刷後については定員になり次第、事業は終了する。

島議員 普通のプレミアム券と、宿泊者用のプレミアム券と、柄が似て分かりづらいという声を聞いたが、今後同じような券を発行する場合は柄にも気を遣ってほしい。

産業観光課長 同様の事業が今後もあった場合は、十分違いが分かるような形で詰めていく。

ウィズコロナ宴席利用 促進事業利用期間延長

産業観光課長

当事業の利用者数は、9月8日時点で35組、約300人であった。コロナ感染第7波のピークや、感染者数高止まりのなか飲食を控えられた方のためにも、今年12月末まで期間延長を決定した。補正予算で執行可能のため、追加予算はあり

ません。

国道352号 小竹橋架け替え事業

建設課長

県が令和3年度に橋梁点検を行い、コンクリートのひび割れ等が見つかったため架け替えが必要となった。令和5年度に、現道から中学校側に仮設う回路を設ける工事を行い、令和6年度と7年度に本体工事を行う予定である。



出雲崎中学校3年生議会見学

出雲崎中学校3年生の皆さんが、9月定例会初日に本会議の様子を見学にきてくれました。会議中ですので交流はできませんでしたが、後日、見学した感想をいただきました。さすが中学生、自分のこととして捉え、活かしていきたいとのこと。とても頼もしい出中学生です！



議員が出雲崎町をさらに良くしようと活動してくれている様子を見て、自分ももっと真剣に出雲崎町の事について、考えようと思う。

話し合いの様子は、これから学校で討論するとき活かしていきたい。

決算認定では、確認して終わりではなく、どう使われたかを発表しており、きちんと税金が役に立っていると実感してうれしくなった。

とても説得力があった。私も今後、そういう場面では、みんなが聞き取りやすい大きな声で話そう、心がけていきたい。



発言するときのポイントが分かった。評議委員会や生徒総会など、全校生徒の前で話ときは、全員が聞きやすいように工夫したい。

議会の男女比と年齢で、女性や若い人が参加できるようにして欲しい。

町長が報告した後、補足しているのを見て、生徒総会でも補足を付けるのもいいと思った。生徒総会も議会のようにスムーズに行なうことを目標にしたい。



「異議はありますか」と聞かれた時は「ありません」と反応するようにしたい。



11月16日(水)、18日(金) 2回開催

「顔が見える議会」を目指して！

出まえ議会を開催します。



出まえ議会は、議員が地域に出向いて皆さまと意見交換を行います。素朴な質問から率直な意見まで、議会に対する要望やご意見など町民の皆さまの意見をお聞かせください。

お近くの会場にぜひお越しください。

開催日	会場	開始時刻	担当委員
11月16日(水)	乙茂公会堂	午後7時00分	社会産業委員
11月18日(金)	海岸公民館	午後7時00分	総務文教委員

総務文教常任委員	高桑佳子	島 明日香	仙海直樹	宮下孝幸	三輪 正
社会産業常任委員	小黑博泰	石川 豊	中野勝正	高橋速円	加藤修三

議会サロンで様々な意見をいただきました。

8月～10月中 計3回

有事に対応できるよう
道路づくりを行ってほしい
(川西橋の拡幅)

伝統芸能の継承にもっと積極的に
取り組んでほしい

免許返納後の買い物対策、
コンビニとの連携を進めて
ほしい

海岸地区の史跡
を積極的にPR
してほしい

議会サロン 今後の予定

開催日	時間	場 所	担当議員	
11月26日(土)	午前10時 ～正午	妻入り会館	仙海 直樹	石川 豊
12月24日(土)		ホッと情報館 陽だまり	高桑 佳子	中野 勝正
1月28日(土)		妻入り会館	宮下 孝幸	加藤 修三

町議会では、町民の皆さまのご意見・ご要望等をお聞きする『議会サロン』を開催しています。担当議員2名が皆さまをお待ちしています。ぜひ、お越しください。



この度、9人の方から議会モニターに就任していただきました。任期の2年間、議会傍聴などを通して、議会運営に関する要望、提言をいただきます。よろしくお願いします。

(三輪 正)



はやかわ ひろゆき やがわ ゆりこ のぎき あつこ なかだ たかのぶ ごとう しょう
 加藤副議長 三輪議長 早川広幸さん 矢川ユリ子さん 野崎温子さん 中田孝信さん 後藤渉さん
 ひがね よしあき おおたに のぶこ かねこ としじ こばやし あれい
 比金義朗さん 大谷信子さん 金子俊治さん 小林亜玲さん

モニターの方に お願いすること

- 会議を年1回以上傍聴する
- 議会運営等について意見を提出する
- 議会との意見交換会に年1回以上参加する
- 議会運営についての調査事項に回答する



子どもたちも元気！

勝見高台の棚田で、出雲崎まるごとオーナーの汐風米稲刈り体験が行なわれました。9月11日当日は、素晴らしい秋晴れで、まっ青な海と空を眺めながら、15組のオーナーのみなさんが、稲刈りとはざかけに汗を流しました。平成28年に始めたこのオーナー制度は大変な人気で、抽選の倍率も高いようです。昼食をとりながらの交流会では、疲れも見せずに「楽しかった！とみんなが笑顔だったとのことでした。10月初旬にオーナーのみなさまには、この汐風米30キロが届けられます。出雲崎を思い出して、笑顔で食べていただける事でしょう。(高桑 佳子)

表紙の小話

まるごとオーナー 稲刈り体験

先日開催された議会広報研究会には、県内の9町村が集いました。他町村の議会だよりをじっくり読む機会にもなり、参考になる点もありました。自慢にはなりますが、いずもさき議会だよりは、講師の指摘を受ける点が少なく、「議会広報クリニク」と題された診察もあつという間でした。まるで、大病院でよくある、1時間待つて医師の診察3分で終了のような感覚。しかしそれに驕ることなく、より興味関心をもって読んでいただけるように、わかりやすい言葉、写真や表、余白のとり方など、細部までこだわっていきたいと思います。

先月、出雲崎中学校3年生が議会を見学に来れましたが、議会だよりは中学生にも読める内容であることが基本です。少しハードルが高く感じるかもしれませんが、身近な内容から目を通し、親しみを持って読んでいただけると嬉しいです。(島 明日香)

議会報特別委員会

委員長 高桑 佳子
 副委員長 石川 豊
 委員 仙海 直樹
 委員 小黒 博泰
 委員 島明日香

編集後記